

事業所職員向け 児童発達支援事業所あつぷる（児童発達支援事業）自己評価表 （職員6名中6名回答）

児童発達支援事業は昨年10月1日開所しましたので、それ以降の内容となっています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・部屋数は多数あり活動別、利用者さん個々の特性に応じて、部屋の使い分けをしています。 ・今後利用人数が増えると、個々のスペースの確保等考えていく必要があるように思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・現在、児童発達支援事業の契約者数が少ないので、利用者さん一人一人に手厚い関わりができています。 ・配置基準以上の職員配置ができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		・室内に段差はありません。車椅子の方は正面玄関から入ることで全フロアスムーズに移動できるようになっています。 ・段差の解消や手すりの設置等必要な対応はできています。今後、視覚障害やLGBTへの配慮、みんなに優しい環境作りに努めたいと考えています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			・職員会等で課題について共有しています。具体的な目標設定ができていないことはあります。 ・全職員が職員会に参加することができないこともありますが、意見が反映できるように、予めどんな意見があるか伝えてもらっています。 ・利用者さんのつまづきや、今後より良い生活ができるようにするためにはどうしたら良いか等、職員間で話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表等で保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6			・児童発達支援事業としては10月に開所したので、今回保護者等より頂いた評価表、また日々のお話の中で頂いたご意見を基に、業務改善を行います。課題について職員間で議論をしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・児童発達支援事業としては10月に開所したので、今回保護者等より頂いた評価表を一条協会のホームページで公開します。お便りでご家族にもご連絡しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・感染症の為外部研修の参加はほとんどありません。虐待防止研修や職員のスキルアップのために必要な研修はリモート研修を受けるようにしています。 ・リモート研修の更なる有効活用も検討しています。 ・現在、来年度必要と思われる研修の拾い上げをしています。 ・職員のスキルアップのために事業所内・外での事例発表を検討しています。
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			・日々ご家族から頂いたお話しやニーズ把握調査、また相談支援専門員が作成した計画等を職員間で総合的に協議した上で、計画作成をしています。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	6			・毎年利用者さんそれぞれの障害や特性、また生育歴、服薬状況等、様々な項目についてご家族・職員より聞き取りを行っています。また学校や他事業所等からも情報を提供して頂き、支援に繋げています。 ・アセスメント表は事業所独自の様式を使用していますが、より根拠に基づく支援ができるようにアセスメントの見直しを考えています。

適切な支援の提供	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	・ケース会議や職員会、また日々の引継ぎ時間の中で、活動について話し合う時間を確保しています。 ・どのような活動をすれば利用者さんが楽しく参加できるか話し合いをしています。 ・職員間で療育の振り返りをし、プログラムの立案に繋げています。
	11	充実したプログラムになるように工夫しているか	6		・利用者さんにとって楽しいと思うことや、飽きがこない内容になるように、職員や利用者さんと話し合いながらプログラムを考えています。 ・充実したプログラムとなるように日頃から利用者さんの様子をよく見たり、どのような活動をしたいか話しを聞いています。 ・発達状況に応じた課題の準備、利用者さんが好きなことを取り入れる等、工夫をしています。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	4	2	・日々の活動の中でも個別活動・小集団活動を組み合わせています。 ・契約者が少ないので、集団としての計画は立てていませんが、小集団での活動は行っています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	・一日ごとに利用者さんの顔ぶれが違うので、その日にどなたが利用されるのか、どんな活動をするのか、また職員の役割についても確認をしています。 ・リーダー役、プロンプト役が必要な時は事前打ち合わせをしています。
	14	職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・情報共有をするように意識しています。時間が取れない時には引継ぎノートを活用し、他の職員にも分かるようにしています。 ・重要な事柄は日誌にも記載し、休みの職員にも共有したりと全体で確認ができるようにしています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	6		・毎日利用者さん個々の支援記録を取っています。必要に応じて振り返りを行い、利用者さんの状態の変化の検証をしています。 ・個別記録を取ると共に、問題点が見られた時はどのように対応すべきかの話し合いをし、実施に繋げるようにしています。
	16	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・半年ごとに必ず支援の見直しを行っています。また相談支援専門員やご家族からの聞き取りを含め、個別支援計画に反映するようにしています。
関係機	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	1	・ガイドラインに則り活動の組み合わせをしています。 ・感染症により十分ではありませんが、10月には地域にある卸業者・飲食店さんと一緒に児童養護施設の利用者さんをご招待しマグロ解体ショーも行いました。
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にはふさわしい者が参画しているか	5	1	・児発管は必ず参加します。担当者が利用者さんの支援をしている時間帯に重なることがあり、他の職員の参加は難しいことがあります。
	19	保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの受け入れ時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		・児童発達支援事業を開始して間もないですが、保育園への送迎時や見学时に先生と情報共有をしています。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、保護者や主治医等との連絡体制を整えているか		6	・医療ケア児の受け入れがなく、予定もないため体制は整っていません。

関 や 保 護 者 と の 連 携	21	保育園を卒園する際、それまでの支援内容等の情報を移行先に提供しているか	2	4		・児童発達支援事業は開始したばかりなので、そのような状況があれば必要に応じ提供していきます。（過去には情報提供していました。）
	22	地域にある専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6		・行政機関と連携はできていますが、助言していただいたり研修していただいたりというものではありません。
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	・10月に地域の卸業者・飲食店さんと一緒に、地域の高校生や児童養護施設をご招待しマグロ解体ショーを開催しました。児童発達支援事業は閉所日でしたが、利用者さんには声をかけさせて頂きました。来年度は、地域のイベントにブースを構える等、関わる機会を増やしていきたいと考えています。
	24	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		6		・管理者が構成員となっていますが、今年度は感染症の影響もあり会議が開催されていません。文章配布のみとなっています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・ご家族の方に可能な限りその日にあった出来事や、最近の様子等お話しをさせて頂いています。連絡帳を活用した情報共有も行っています。 ・ご家族がお子さまにどのようなになってほしいか聞き取りを行い、支援に繋がっています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について保護者に説明を行っているか	6			・支援内容は個別支援計画作成時やモニタリング報告の際、また日々ご家族の方が来られた際に、可能な範囲でお話をさせて頂いています。 ・契約（更新）時に、契約書や重要事項説明書の中で運営規定や利用者負担額等について説明をし、承諾を得るようにしています。
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・相談された時に即答できないこともありますので、他の職員や上司に確認したり調べ、後日伝えるように心掛けています。 ・来所時にご家族の方の困りごと等も聞き、利用者さんへの働きかけ方や、その他の業務改善にも努めています。
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・父母の会が地域にないのが現状です。 ・今年度は10月に児童発達支援利用のご家族、小学生を対象とした保護者懇談会を開催しました。活発な意見交換ができたと思います。今後の取り組み内容・時期については、コロナウィルスの影響はありますが、ご家族の意見を聞きながら参加しやすい会にするための工夫をしています。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・今年度児童発達支援事業の苦情事案はありません。苦情が上がった場合は、速やかに謝罪・必要な対応を講じ、保護者懇談会において報告をするようにしています。またその際資料に記載し、参加できないご家庭には郵送するようにしています。苦情ではなく、ご意見・ご提案として頂いた内容も、職員間で共有しています。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や必要な情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月事業所お便りを発行しています。またその都度必要な情報もお知らせ文として発行しております。連絡帳や掲示板も活用しており、多くのご家庭から高評価を頂いています。
	31	個人情報に十分注意しているか	6			・契約時（更新時）に、ご家族には個人情報取り扱いに関する調書に必要事項の記入をして頂いています。それに基づいて対応しています。
	32	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしていることはあるか	6			・お迎えの際その日の様子をお話させて頂いたり、連絡帳等でご家族に伝達するようにしています。 ・お手紙や掲示板で写真を使った行事報告も行っています。 ・今後、ホームページ、またSNS等で情報発信をしていきたいと考えております。

	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	1	・児童発達支援事業としては、閉所日でありましたが10月に地域の卸業者と児童養護施設の利用者さんをご招待したマグロ解体ショー（施設のお祭り）を行いました。契約人数が少なく残念ながら当事業所の利用者さんの参加はありませんでしたが、お祭りとしてはとても盛り上がりました。来年度の行事についても現在検討しております。 ・来年度は福祉避難所の開設訓練に地域の方に参加していただくことになっています。
非常時等の対応	34	緊急時対応や感染症の対応等のマニュアルを策定し保護者に周知しているか	5	1		・重要事項説明書の中で病気やケガ、避難訓練等について説明をしています。 ・感染症については随時文章を発行しております。 ・災害時対応について、より安全・安心かつご家族にも分かりやすいようにマニュアルの見直しをしているところです。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3	1	・当事業所としては、毎月1回併設の入所施設と合同で避難訓練（地震・火災・風水害）を行っています。主に土曜日に実施していることが多いので参加が難しいです。今後、児童発達支援事業の利用者さんを対象とした避難訓練も行います。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		・虐待防止委員会を設置しています。その中でセルフチェックシートを活用して、不適切な支援が行われていないか点検しています。 ・今年度常勤職員は高知県障害福祉課職員による虐待防止研修に参加しています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6			・児童発達支援事業の利用者さんに該当者はいません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの説明や医師の指示書に基づく対応がされているか	6			・現在、対応が必要な利用者さんはいませんが、ケースが発生した場合は事故防止のため、徹底したルールが必要です。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・事案があれば作成します。 ・どのような場合に（事故・ヒヤリハット）とするのか、再度統一した見直しも必要だと思います。

取りまとめ:令和 5年 3月 2日